

2019  
1月  
13日

## 「ミネハハさんコンサート」を開催

ミネハハさんをお招きしてコンサートを行いました。来場者数は77名でした。広報にご協力くださったみなさま、会場のみなさま、スタッフのみなさま、ありがとうございました。

コンサート後の第二部では、ミネハハさんとリメンバースタッフとのトークセッションがありました。しんどいときの呼吸法や、「表現することの意味」のようなお話もあり、とてもよかったのではないかと思います。

今回は、一人のスタッフが、数カ月かけてアーティストや会場との細かい段取りを詰めてくれました。彼は、海外への出張も多し、帰国した途端に来名して愛知県や名古屋市の自殺対策の協議会にリメンバー名古屋として出席、というハードスケジュールをこなしてくださっているのですが、彼の活躍ぶりを、他のスタッフたちに今回LIVEで見せられたことも、個人的にとてもうれしかったことです。

完璧な段取りのおかげで、当日は、スタッフも客席でしっかりとコンサートを楽しむことができました。

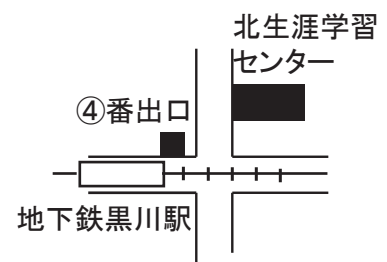
意外と音楽イベントに強そうなスタッフがいることもわかりました。そういえば昔、「リメンバーで文化祭をしよう」というような話がでたこともありました。

来年、いかがでしょうか？「イベント」専門スタッフも大募集中です。

## 次回の遺族会

第92回

2月3日(日)13:15から  
名古屋北生涯学習センター  
地下鉄名城線「黒川」下車  
(4番出口)よりすぐ  
参加費:500円



その次は・・・

第93回 2019年4月の日曜日を予定  
※2月初めに決まります  
北生涯学習センター

日程は、ホームページまたは、電話案内でご確認いただけます。

パソコンの方

<http://will.obi.ne.jp/remember/>

携帯電話の方

<http://www.will.obi.ne.jp/m/>

電話案内(録音でのご案内)

090-8544-9408

## たんぽぽのつどい2019 参加者募集

○他団体からのお知らせ 3月23日(土)～25日(月)

ー以下「たんぽぽのつどい」案内より転載ー

私たちたんぽぽのつどい実行委員会は、病気災害自殺などによって親をなくしたり、親が重度後遺症障害で働けなくなってしまったため、あしなが奨学金を受けて大学・専門学校に通っている学生と、活動に賛同してくれるボランティアスタッフによって、2002年から中学生以下の遺児とその保護者を対象に「たんぽぽのつどい」を開催してきました。

日時:2019年3月23日(土)～3月25日(月)

場所:愛知県内(参加者の方にお知らせします)

目的:親をなくした子どもたちに「一人じゃない」と思える安心安全な場づくり。親をなくした子どもをもつ保護者同士の出会いと分かち合いの場づくり。

対象:中部・北陸地方の親をなくした中学生以下の子どもと保護者  
費用:無料

主催:たんぽぽのつどい実行委員会・リングA

申込・問合せ: [ringa\\_nagoya@yahoo.co.jp](mailto:ringa_nagoya@yahoo.co.jp)

共催:グリーフサポートあいちこどもの森

## スタッフ募集

遺族会に参加したことがある方で、会の活動のお手伝いをいただける方募集しています。  
詳しくはお問い合わせください。

## 新聞郵送をご希望の方へ

1月～6月末までのお申し込み(前期)・・・1000円もしくは82円切手(80円切手も可)13枚  
7月～12月末までのお申し込み(後期)・・・500円もしくは82円切手(80円切手も可)7枚  
お申し込みは、郵便番号・住所・氏名を記入の上ご送金いただくか、切手をご郵送ください。

## 近隣の遺族会のご案内

### 次回「ディアレスト」のご案内

家族ではないけれども大切な人を自死で亡くされた方を対象に、遺族会「ディアレスト (Dearest)」が開催されています。

日時：2019年3月24日（日）13:30-16:00

場所：名古屋市中村生涯学習センター  
地下鉄東山線「本陣」駅

対象：家族以外の大切な人(恋人・婚約者・パートナー・親友・同僚・上司・部下・先輩・後輩・先生・生徒、など)を自死(自殺)で亡くされた方

参加費：500円

連絡先：the.dearest1@gmail.com

<http://dearest.heya.jp>

### 次回「～こころの居場所～AICHI自死遺族支援室」のご案内

日時：2019年3月16日(土)

14:00～16:00 (開場 13:45)

場所：名古屋市政資料館 参加費：500円

連絡先：[cocoroibasyo@yahoo.co.jp](mailto:cocoroibasyo@yahoo.co.jp)

090-4447-1840

<http://cocoroibasyo.org/>

### 次回「いっぷく処」のご案内

さまざまな宗派の僧侶の方が集った「いのちに向き合う宗教者の会」により、「いっぷく処」が定期的に開催されています。平日午後での開催になります。

対象：大切な方を自死で亡くされた方

日時：2019年3月1日(金)

14:30～17:00(開場14時)

場所：東別院対面所 (地下鉄東別院下車)

主催：いのちに向き合う宗教者の会

連絡先：[info@inochi.in](mailto:info@inochi.in) <http://inochi.in/>

### その他、近隣の自死遺族のわかち合いの会

岐阜「千の風の会」・・・

問い合わせ：岐阜県精神保健福祉センター

058-231-9774

浜松「浜松わかち合いの会」・・・

問い合わせ：浜松市精神保健福祉センター

053-457-2709

その他、全国に自死遺族の分かち合いの会があります。詳しくはお問合せください。

## りめんばー

先日「比較社会漂流記」と題したシンポジウムに行ってきました。自死に関わりをもつ団体の主催のものです。「比較すること/比較されることがどうして苦悩を生むのか」ということを考える場でした。

他人と自分とを比較して、「いいなあ、あの人は」とうらやましく思ったり、逆に「自分は〇〇でよかった」と少し安心したりすることは、よくあることではないでしょうか。それが軽い程度ならいいのですが、比較することは時に、妬み、絶望、優越感と、相互に深く傷つくことへとつながります。特に「同じような人」との比較によって違いが、それも自分がそうありたかったものがその人に見いだされる時、最も苦悩を生むように思います。それは、かけ離れた違いではなく、「自分もあんなれたはずなのに、なぜ」という思いが強く感じられるからのように思います。

会の「分かち合いの約束」の中にも「比較 例：私のほうが～だわ 私よりたいへんですね」というのは「口にしないほうが良いこと」として書いています。自分自身、初めてある遺族会に参加した時、「妻を亡くするのが一番つらい」というようなことを言ってしまったことを覚えています。それまで、他の遺族に出会ったことなどなく、世界で一番つらいのは自分だと思っていたのです。しかし、他の遺族の人と話していくうちに、他の人よりもつらいかどうかではなく、同じように抱えているつらさを共に感じあいながら、「世界で一番」という孤立から抜け出せたように思います。お互いの圧倒的なつらさの前に、比較など吹き飛んでしまったのかもしれない。

シンポジウム後の打ち上げの席で、さまざまな人と話す機会がありました。話す中で、どうしても「ああ、この人とは違うな」と思うこともよくありました。「同じような人」の集まりだからこそわきあがる共感への期待感が、いびつな比較をしてしまっているのかもしれない。生み出される孤立感も、比較の苦悩のひとつなのかと思いつつ、めずらしく雪の降る夜、ひとり帰途に着いたのでした。(KN)